

はじめに

安全上のご注意…………… 2
使用上のご注意…………… 5
各部の名称と働き…………… 6
取り付けかた…………… 8
電源について…………… 10

映像を録画する

録画の準備…………… 12
連続記録…………… 13
衝撃を検知しての録画(イベント記録)…………… 13
連続+イベント記録…………… 14
録画ボタンを押しての録画
(ワンタッチ録画)…………… 14

専用ビューアソフトの使いかた

準備する…………… 15
専用ビューアソフトをインストールする…………… 16
専用ビューアソフトのバックアップについて…………… 18
録画データの準備…………… 19
録画された映像を見る(イベント記録)…………… 22
録画された映像を見る(連続記録)…………… 24
録画した映像を保存する…………… 27
録画した映像を印刷する…………… 30
履歴を見る…………… 32
Google Earth 用のデータに変換する…………… 34
設定を変更する…………… 36
記録設定…………… 37
日時設定…………… 38
システム…………… 38
衝撃感度設定…………… 39
SD カード初期化…………… 41
録画データ削除…………… 42
インフォメーション…………… 43

その他

故障かな?と思ったら…………… 44
GPS 測位機能について…………… 45
仕様…………… 46
アフターサービスについて…………… 47
保証書…………… 裏表紙

カメラ一体型ドライブレコーダー

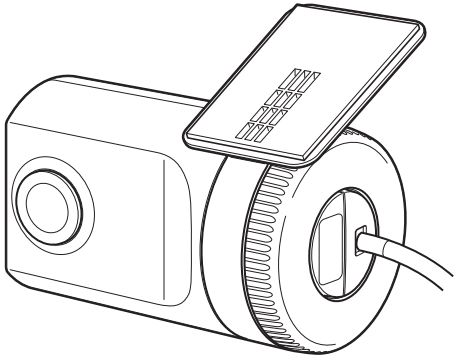
BU-DRR610T

取扱説明書

12V、24V車対応

このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、連続した録画記録や、万一の事故発生時に映像を最大30秒間記録します。



保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 BU-DRR610T	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	お買い上げの日から1年
お客様 お名前 ご住所	様 TEL ()
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

視野角
左右上下
131°
96°

30万画素

最低照度
1LUX.

対応

- 事故発生時の最大30秒間を自動記録
- 5段階で設定可能な加速度センサ
- 電源喪失時も安心、バックアップ機能
- フロントガラスに合わせて、カメラ角度無段階調整
- GPS内蔵で車速、時刻、自車位置情報を記録
- 連続記録、イベント記録、または両方を選択可能
- 残したいときにボタンひとつでワンタッチ録画
- 4GBのSDカード付属
- パソコンで確認できる専用ビューアソフト付属
- デジタコヘトリガ出力

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険： 危険内容を見逃した取り扱いをすると、死亡または重症を負う高い可能性が想定されます。

⚠ 警告： 警告内容を見逃した取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 注意： 注意内容を見逃した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

❗ 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

⊘ サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⊘ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

⊘ 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

⊘ 本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⚠ 注意

⊘ 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。

⊘ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

⊘ 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。

⊘ 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。

⊘ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

⊘ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

⚠ 本機は精密機械です。静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠ 注意

❗ 取り付けは確実に行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。

❗ 運転中にランプ類を注視しないでください。前方不注意による事故の原因になります。

❗ 運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

⚠ 警告

❗ 取り付けは、フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。

❗ 手動録画をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

⊘ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

⚠ 注意

❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

● 車両接続ハーネスについて

⚠警告

- ❗ 取り付け作業中はバッテリーのマイナス端子をはずしてください。バッテリーのマイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートによる故障や感電、けがの原因となります。
- ❗ 車両接続ハーネスは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
- ❗ お手入れの際は、車両接続ハーネスを抜いてください。感電の原因となります。
- ❗ 取り付け後は、車両の電装品が正常に動作するか確認してください。車の電装品（ブレーキ、ライト、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。
- ⊘ バッテリーに直接接続しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ⊘ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ⊘ 車両接続ハーネスを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

● SDカードについて

⚠注意

- ⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源が入っていないことを確認して行ってください。
- ⚠ SDカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

- 本機を取り付けての違反に関しましては、弊社では一切の責任を負いかねます。日ごろからの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

録画についての注意

- 本機は走行中の映像を連続して記録したり、衝撃を検知して事故発生前後の映像を記録します。
- すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本機の設定（感度設定など）や記録した映像を見るためには、下記スペックを満たすパソコンおよびSDカードリーダーライターが必要です。必要な機器は、別途ご準備ください。
 - ・ 解像度1024×768ピクセル以上の表示ができるMicrosoft Windowsを搭載したパソコン。
 - ・ ご使用のSDカードに対応したSDカードリーダーライター。

取り付けについての注意

- 本機は本書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

SDカードについての注意

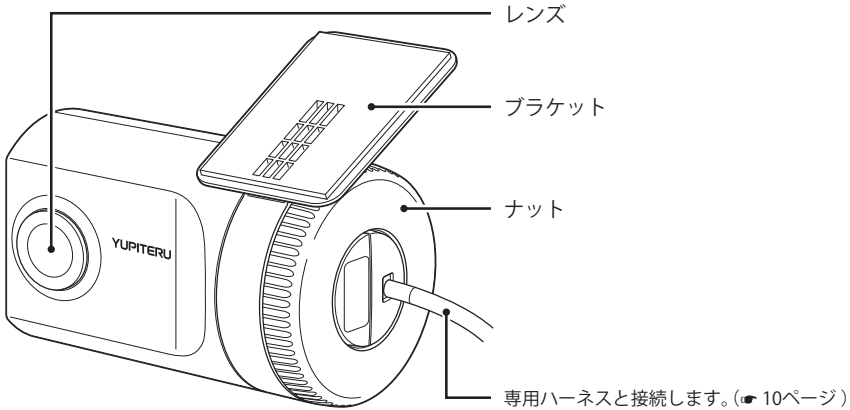
- パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。
- 付属のSDカード、または別売品のSDカード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。
- 付属のSDカードを取り出すときは、本機の電源がOFFである（録画ランプ（青）が消灯している）ことを確認してからSDカードを取り出してください。SDカードが破損するだけでなく、本機が故障する恐れがあります。
- 付属のSDカードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、付属のSDカードや本機の故障の原因となります。

GPS測位についての注意

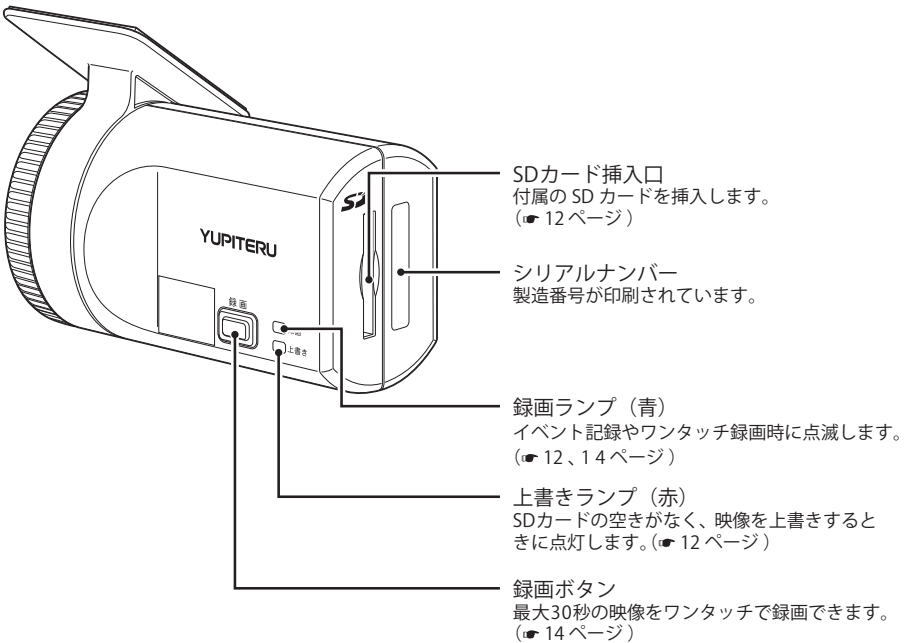
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの耐熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPSが測位できない場合があります。
- 走行速度や距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。GPS測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

各部の名称と働き

正面



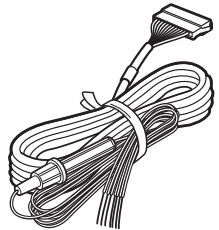
背面



付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- 車両接続ハーネス / 約 4m 1
車内アクセサリ系端子から直接電源を取ります。



- SD カード (4GB) 1
- 専用ビューアソフト
(付属のSDカード内に収納)
- 両面テープ 1
- 取扱説明書・保証書 (本書) 1

※ 紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

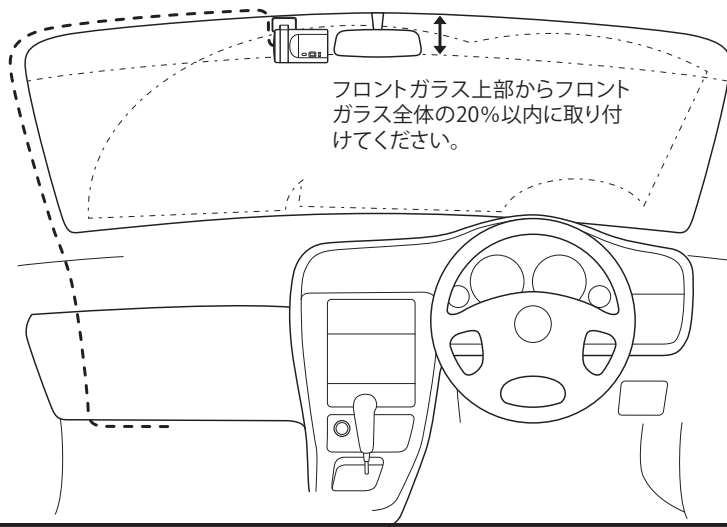
別売品

- BU-DRR8 (8GB SDHC カード) 10,500 円 (税込)
- BU-DRR16 (16GB SDHC カード) 21,000 円 (税込)

※ 付属品または別売品のSDカード以外は使用しないでください。

取り付けの注意

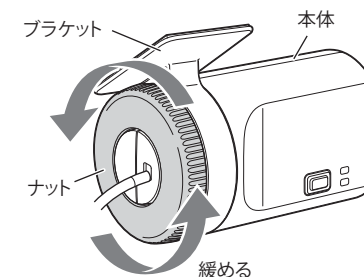
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントウィンドウ淵の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。



取付方法

フロントガラスの角度に合わせてカメラの角度を調整できます。(特許出願中)

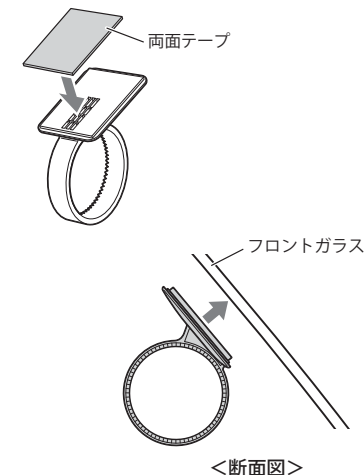
1 ナットをはずし本体からブラケットを取り外す



2 ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける

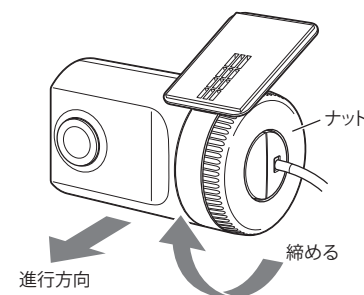
あらかじめブラケットや、フロントガラスの汚れや脂分をよく落としたあと慎重に取り付けてください。

- ※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。
- ※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。



3 ブラケットに本体を装着し、レンズを進行方向に向け、ナットを締めて固定する

- ※ 上下45°の角度まで本体を傾けて取り付けることができます。
- ※ 本体を初めて取り付けるときや、カメラの取り付け角度を変更したときは、設置角度の検出(40ページ)を必ず行ってください。



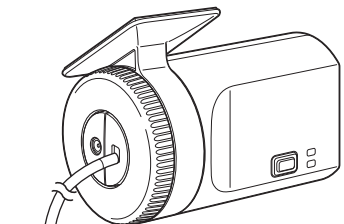
専用ハーネスを使った接続方法

付属の専用ハーネスを接続する。

接続作業の前に…

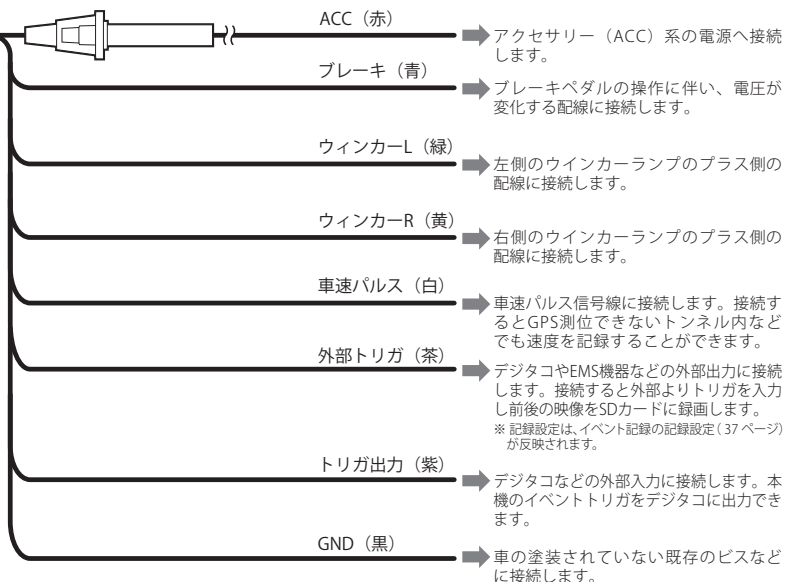
作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。

※ カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

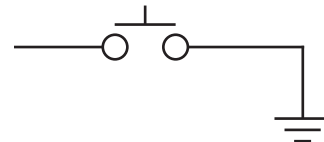


車両接続ハーネス

- ・下図のようにそれぞれ正しく接続してください。
- ・本機と専用ハーネスをコネクターで接続してください。
- ・ACC（赤）は、必ずエンジンキーのアクセサリ ON/OFF 操作と連動して電源が ON/OFF する配線に接続してください。
- ・GND（黒）は、車両の塗装されていない金属部分（ボディアース）に接続します。
- ・走行中の振動などで配線が外れないようにしっかりと接続してください。
- ・トリガ出力に ACC など、電源や別の出力信号を接続しないでください。



外部トリガ (茶色) 接続先参考図



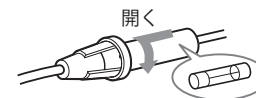
バックアップ機能について

重大事故などで、衝撃を検知後に電源が断たれた場合、バックアップ機能によりコマ数を落として映像を録画します。

※ 電源投入後 2 分間は、バックアップ機能は働きません。

ヒューズの交換

- ・接続状態でエンジンをかけても、機器の電源が入らない場合は、接続コード類が外れていないことと、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないことを確認してください。
- ・ヒューズを交換する際は、必ず同一容量 (1A) のヒューズをご使用ください。
- ・図のようにヒューズホルダーを押しながら左に回して外し、元に戻すときは、押しつけながら右に回してください。



録画の準備

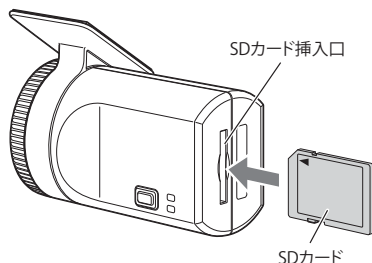
1 付属の SD カードが挿入されていることを確認する

付属の SD カードが挿入されていないときは、本機の電源が OFF になっていること（録画・上書きの LED がすべて消灯）を確認して、付属の SD カードを挿入してください。

※ 付属の SD カード、または別売品の SD カード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

※ 付属の SD カードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、付属の SD カードや本機の故障の原因となります。

※ エンジンキーを OFF にしても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われています。SD カードの抜き差しは、録画および上書きの LED が消灯している状態で行ってください。



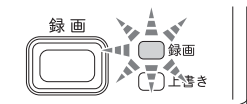
2 車のエンジンを始動する

本機に電源が供給されると録画ランプ（青）と上書きランプ（赤）が点灯し、その後点滅に変わります。正常に起動すると、上書きランプ（赤）が消灯し、録画ランプ（青）だけが点灯します。

※ 本機から『ピーピー…』と鳴る場合は SD カードの挿入を確認してください。

録画ランプ（青）が点灯

正常に起動しています。



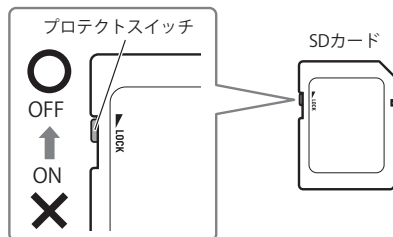
録画ランプ（青）と上書きランプ（赤）が同時に点滅する

『ピーピー…』と鳴る

付属の SD カードが正しく挿入されていないときなどは、正常に起動できません。車両のエンジンキーを OFF にして、付属の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。

SD プロテクトスイッチについて

SD カードには、プロテクト（書き込み禁止）機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチを OFF にしてください。



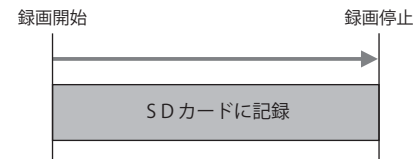
専用ビューアソフトを使って、録画方法を選択することができます。（➡ 37 ページ）

連続記録

エンジン始動（ACC ON）からエンジン停止（ACC OFF）までの映像を SD カードに連続録画します。録画時間は、記録設定によって変更することができます。（➡ 37 ページ）

（高画質、10 コマ/秒、サイズ L）で、付属の SD カード（4GB）に約 3 時間の連続録画が可能です。

◆ 録画開始から録画停止まで 約3時間以内の場合



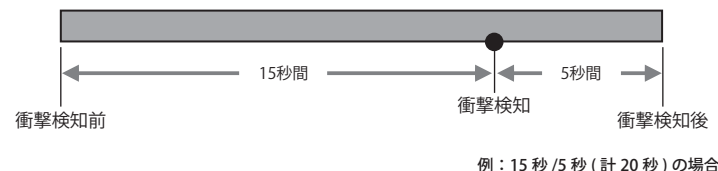
◆ 録画開始から録画停止まで約3時間を越える場合



衝撃を検知しての録画（イベント記録）

内蔵の加速度センサーが一定以上の衝撃を検知すると、衝撃の前後の映像を SD カードに録画します。加速度センサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ランプ（青）が点灯から点滅に変化し、『ピー』音が鳴り、録画が行われます。録画が終了すると録画ランプ（青）が点滅から点灯に戻ります。録画回数や前後時間比率は、記録設定によって変更することができます。（➡ 37 ページ）

※ 記録時の警報ブザーは設定で OFF にすることができます。（➡ 38 ページ）



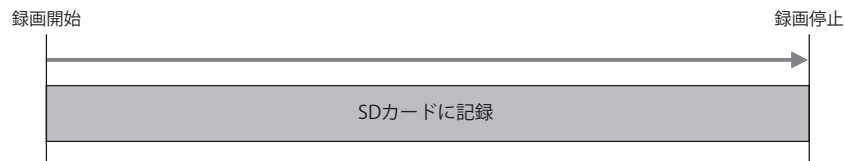
映像を録画する

連続 + イベント記録

エンジン始動（ACC ON）からエンジン停止（ACC OFF）までの映像を SD カードに記録しながら、加速度センサーが一定以上の衝撃を検知すると、衝撃の前後の映像も同時に記録します。録画回数や録画時間は、記録設定によって変更することができます。（➡ 37 ページ）

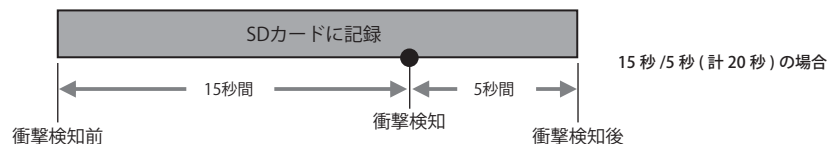
連続記録

◆ エンジン始動から停止まで連続して映像を記録します。（秒間1フレームに固定）



イベント記録

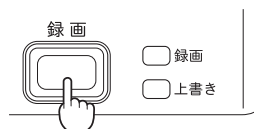
◆ 加速度センサーが一定以上の衝撃を検知すると、衝撃の前後の映像もSDカードに同時記録します。



録画ボタンを押しての録画（ワンタッチ録画）

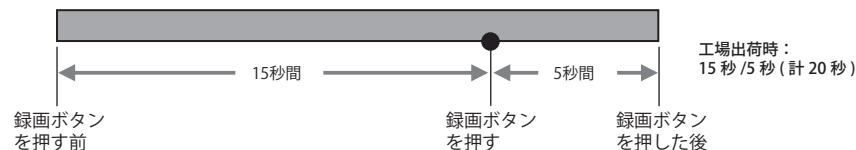
設定された録画方法に関係なく、本機の録画ボタンを押すことで、ボタンを押した前後の映像を SD カードに録画します。

※ ワンタッチ録画の記録設定は、イベント記録の記録設定（➡ 37 ページ）が反映されます。



注意

！ ワンタッチ録画をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。



録画ボタンを押すと録画ランプ（青）が点灯から点滅になり、本機より『ピー』と音が鳴ります。

※ 記録時の警報ブザーは設定で OFF にすることができます。（➡ 38 ページ）

● 録画が終了すると

…録画ランプ（青）が点滅から点灯に戻ります。

専用ビューアソフトの使いかた

つづく

本機で録画した映像は、専用ビューアソフトを使い、パソコンで見ることができます。

※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

準備する

解像度 1024 × 768 ピクセル以上が表示できる Microsoft Windows XP または Vista、7 を搭載したパソコン。

ご使用の SD カード容量に対応した SD カードリーダーライター。

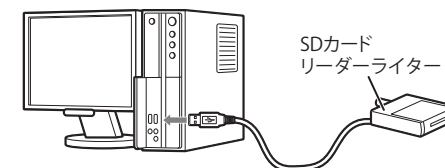
※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

※ 専用ビューアソフトの画面サイズは 1024 × 768 ピクセル固定です。

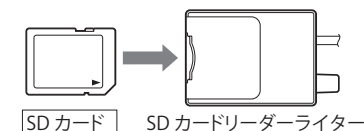
対象 OS

- Windows XP
- Windows Vista
- Windows 7

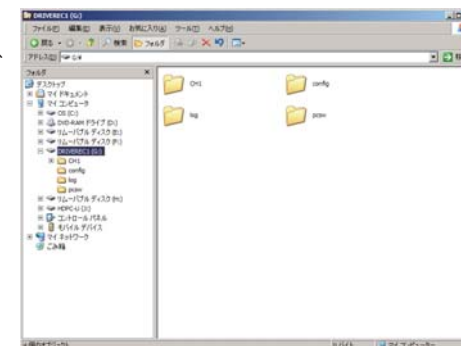
1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する



2 付属の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



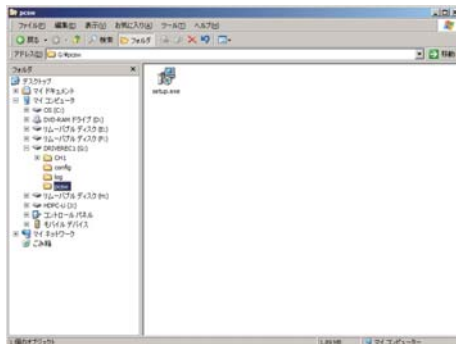
3 エクスプローラなどを起動し、「DRIVEREC1」と表示されているドライブを展開し、[pcsw] フォルダをダブルクリックする



専用ビューアソフトをインストールする

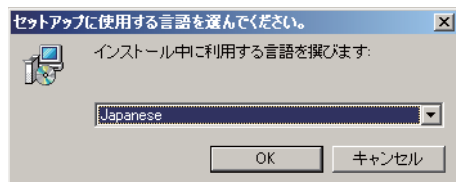
1 [setup.exe] をダブルクリックする

※ パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、setup と表示されます。



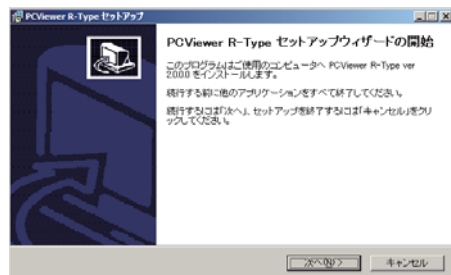
2 セットアップに使用する言語を選択する

言語を選択して [OK] をクリックします。
Japanese を選択すると日本語、English を選択すると英語表示画面になります。
※ 以降は Japanese を選択した手順です。



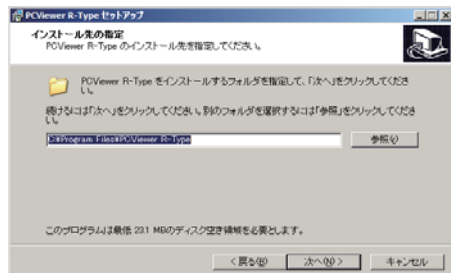
3 セットアップウィザードの開始

[次へ] をクリックする



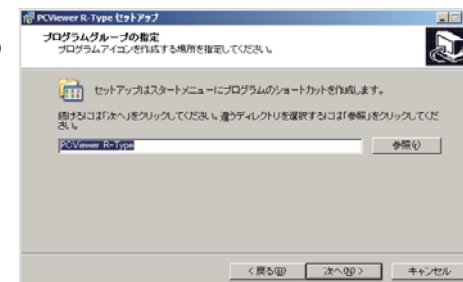
4 インストール先の指定

インストール先のフォルダ画面が表示されますので、インストール先を指定し [次へ] をクリックします。



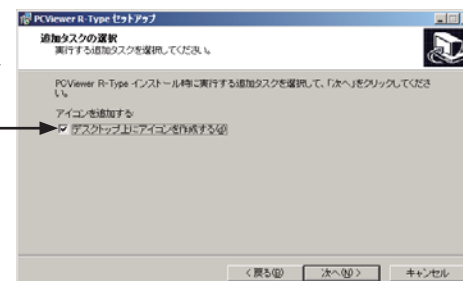
5 プログラムグループの指定

プログラムグループが表示されますので、[次へ] をクリックします。



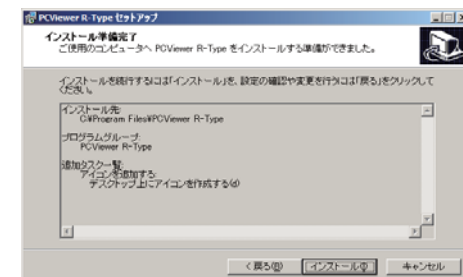
6 追加タスクの選択

デスクトップ画面にショートカットアイコンを作成します。
確認して「次へ」をクリックします。
デスクトップ画面のアイコンをクリックするだけで、いつでも専用ビューアソフトを起動できます。



7 インストール準備完了

[インストール] をクリックします。



8 セットアップの完了

[完了] をクリックします。

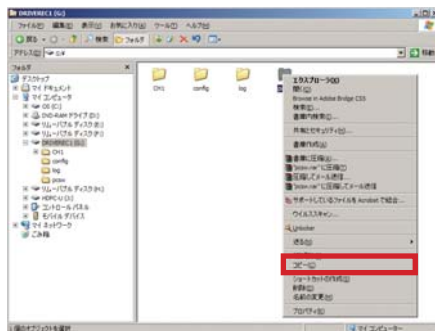


専用ビューアソフトのバックアップ(コピー)について

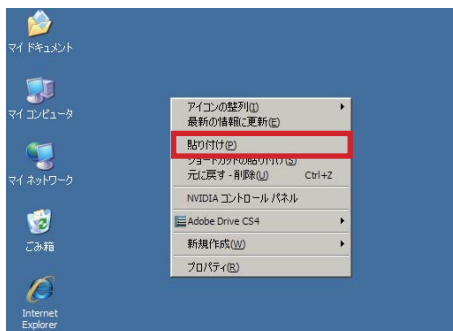
専用ビューアソフトは付属の SD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをおすすめします。

例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合

- 1 エクスプローラなどを起動させ、「DRIVEREC1」と表示されているドライブを展開し、「pcsw」フォルダ上で右クリックし、「コピー」を選択する



- 2 デスクトップ上で右クリックし、「貼り付け」を選択する

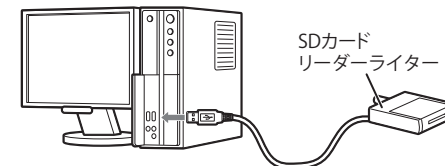


- 3 保存の完了

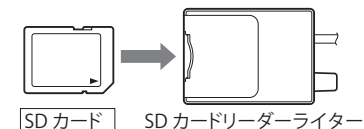
デスクトップに「pcsw」フォルダがコピーされます。

録画データの準備

- 1 SD カードリーダーライターを専用ビューアソフトがインストールされているパソコンに接続する



- 2 付属の SD メモリーカードを SD カードリーダーライターに接続する



- 3 デスクトップにある [PC Viewer R-Type] アイコンをクリックする
専用ビューアソフトが起動します。



- 4 専用ビューアソフトのファイルメニューの [ツール] → [機種選択] から使用する機種を選択する

※ 間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。





No	表示名	表示の意味	
①	メニューバー1	ファイル	ファイルの読み込みや印刷ができます。
		表 示	シングルチャンネル表示や16分割表示、加速度センサーグラフのスケールを変更できます。
		再 生	再生ボタンと同等の操作ができます。
		ツール	機種選択や各種変換操作ができます。
		インフォメーション	バージョン情報や弊社HPを表示します。
②	メニューバー2		フォルダを指定します。
			静止画に変換します。
			印刷をします。
			動画変換します。
			データのバックアップをします。
			ログデータに変換します。
			記録設定の変更をします。
③	表示エリア	選択したファイルの映像を表示します。	
④	表示切替ボタン	シングル画面、16分割画面に切り替えます。	
⑤	再生ボタン	再生や、早送りなどの操作を行います。	
⑥	車両情報表示	走行速度：GPSまたは車速信号線からの走行速度を表示します。 加速度　：X方向：赤色、Y方向：黄緑色、Z方向：青色で表示します。 緯度・経度：GPSで記録した緯度（N）・経度（E）を表示します。	
⑦	プレイリスト一覧	選択されているファイルを表示します。	
⑧	日付 時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。	
⑨	Google Maps表示	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。 インターネットに接続されていないと、GoogleMapsは表示されません。	
⑩	加速度センサーグラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。	

5 （フォルダ）をクリックする



6 「DRIVEREC1」と表示されているドライブを指定し、[OK] をクリックする

・[ファイル] をクリックし [データフォルダを指定] から、[DRIVEREC1] を選択しても同じ画面表示になります。



ファイル名について

ワンタッチ録画や衝撃を検知した日付、時間がファイル名となります。

2011. 08. 20 19 : 21 : 12 衝撃
年 月 日 時 分 秒 トリガ（映像を記録するきっかけ）

●トリガ

衝撃を検知して記録した場合は「衝撃」、録画ボタンを押して記録した場合は「スイッチ」と表示されます。

専用ビューアソフトの使いかた

専用ビューアソフトの使いかた

録画された映像を見る(イベント記録)

1 イベントタブをクリックする

※ 連続 + イベント記録を選択している場合、イベント映像(衝撃検知映像など)はイベントタブ、連続映像は連続タブから読み込むことができます。



2 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ **すべてを選択** をクリックすると、録画されているファイルすべてに ☒ が表示されます。



3 **読み込み** をクリックする

- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
 - ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
 - ・ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [イベント] をクリックしても同じ画面表示になります。
- ※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。

4 再生する

▶ ボタンをクリックすると、録画するきっかけとなった時点から再生を行います。

- 映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



- ・ [再生] をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止] をクリックすると、クリックした動作を行います。
- ・ 録画するきっかけとなる前の映像を確認する場合は、[逆再生] や [早戻し] のボタンをクリックしてください。

- **◀▶** や **◀▶▶** ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変えることができます。

- ・ **◀▶** を 1 回クリックすると 1 倍速 **x1** (通常速度)、2 回クリックすると 0.5 倍速 **x0.5** (スロー) で [再生] または [逆再生] できます。
- ・ **◀▶▶** を 1 回クリックすると 2 倍速、2 回クリックすると 4 倍速、3 回クリックすると 8 倍速、4 回クリックすると 16 倍速で [早送り] または [早戻し] できます。

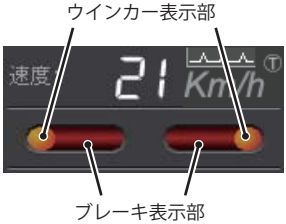
- **□** ボタンをクリックするとシングル画面表示、**16分割** ボタンをクリックすると 16 分割画面表示に切り替えることができます。

- ・ [表示] をクリックし [画面表示] から [シングルチャンネル] または [シングルチャンネル 16 分割] をクリックしても同様に画面表示を切り替えることができます。



- 車速、ウインカー、ブレーキ情報

※ ウインカーやブレーキランプ、車速パルス信号が記録できます。



車速	GPSからの情報、または車速信号線からの情報で車両の速度を表示します。専用ビューアソフトの「ツール」の「速度表示選択」から、「GPS速度」、または「車速パルス」を選択することができます。
ウインカー	ウインカーを出したことがウインカー表示部の点滅で確認できます。
ブレーキ	ブレーキを踏んだことがブレーキ表示部の点灯で確認できます。

車速信号線(車速パルス)の情報で速度を表示すると、速度表示の右上に **▲▲▲** が表示されます。

- 専用ビューアソフトのファイルメニューの「ツール」→「速度表示選択」から使用する車速信号（GPS 速度、または車速パルス）を選択します。

※「動画変換」（28 ページ）で書き出される速度情報も、ここで選択した車速信号の情報になります。

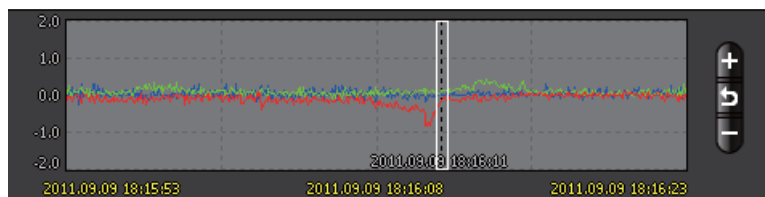


加速度センサーグラフは、録画したデータを加速度（縦軸）と時間（横軸）でグラフ表示します。

- 加速度センサー表示は **+** ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、**-** ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。

B ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

- ・[表示]→[加速度センサースケール]から[拡大][標準][縮小1][縮小2]を選択、操作をしても同様の動作となります。
- ・エリア内をクリックすると、クリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したいところでクリックし、**▶** で確認ができます。



録画された映像を見る（連続記録）

1 連続タブをクリックする

※ 連続 + イベント記録を選択している場合、イベント映像（衝撃検知映像など）はイベントタブ、連続映像は連続タブから読み込むことができます。



2 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・複数のファイルを選択できます。
- ・「すべてを選択」をクリックすると、録画されているファイルすべてに ☒ が表示されます。



3 「読み込み」をクリックする

- ・選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ・[ファイル]をクリックし[読み込み]から[連続記録]をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



No	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン	連続録画中のイベント位置（衝撃検知位置やワンタッチ録画位置）を表示します。

- つまみをスライドさせ ▶ ボタンをクリックすると、その場所から再生できます



- トリガリスト表示 ボタンをクリックするとイベントのリスト表示に切り替えることができます。



リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。



録画した映像を保存する

SD カード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

バックアップ

SD カードに録画されているファイルをパソコンなどにバックアップできます。

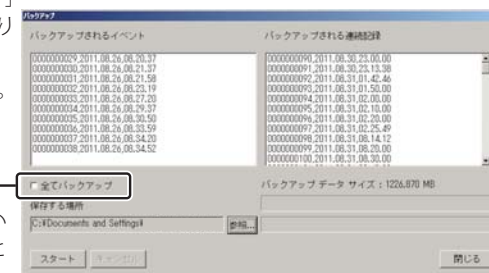
※ バックアップしても録画した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除(● 42 ページ)を行ってください。

- 1 ファイル名の一覧より、保存したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、読み込み をクリックする (● 22 ページ)

- 2 (バックアップ) をクリックする

- ・ [ツール] をクリックし [バックアップ] をクリックしても同じ画面表示になります。
- ・ 読み込まれたファイルが表示されます。

- ☐ 全てバックアップ
- ☒ を入れると SD カードに録画されているすべての映像がバックアップの対象となります。



- 3 保存する場所を指定し、[スタート] をクリックする

- 4 保存が完了すると、「バックアップ完了」と表示される

[OK] をクリックするとバックアップの画面に戻ります。
3 で指定したフォルダ内に「CH1」と「log」と「config」の 3 つのフォルダが作成されます。

- 5 終了するときは [閉じる] をクリックする

バックアップしたファイルはデータフォルダの参照よりバックアップを選択すると確認できます。

動画変換

録画されたファイルを AVI 形式の動画に変換して保存できます。

※ 変更した車速信号(🔊 23 ページ)は、動画変換されるファイルにも反映されます。

動画変換した映像を見る

動画変換して保存したファイルは Microsoft Media Player Ver.9.0 以上で再生できます。

- 1 ファイル名の一覧より、動画変換したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、**読み込み** をクリックする (🔊 22 ページ)

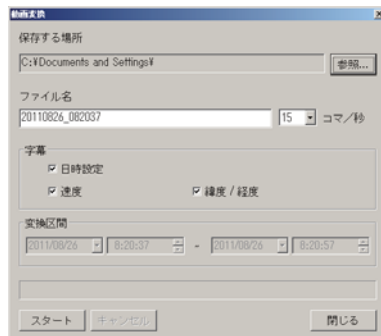
- 2 **動画変換** をクリックする

・[ツール] をクリックし、[動画変換] をクリックしても同じ画面表示になります。

- 3 お好みのファイル名や保存する場所、コマ数を指定し、[スタート] をクリックする

「日時設定」に ☒ を入れると、映像を記録した日時と時間を保存映像に字幕として表示します。

※ 本機では、「速度」や「緯度 / 経度」を字幕表示することはできません。

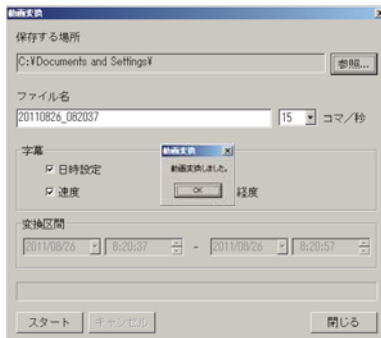


- 4 保存が完了すると、「動画変換しました」と表示される

[OK] をクリックすると動画変換の画面に戻ります。

指定した保存先に * .avi ファイルが保存されます。

※ * 部には、映像を録画した日時が、指定した名称が入ります。



- 5 終了するときは [閉じる] をクリックする

静止画変換

表示エリアに表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、「表示中の静止画すべて」または「コマ数指定」を選択します。

静止画変換した映像を見る

静止画変換し、JPEG形式で保存した画像は Windowsの標準ソフトで見ることができます。

- 1 ファイル名の一覧より、静止画変換したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、**読み込み** をクリックする (🔊 22 ページ)

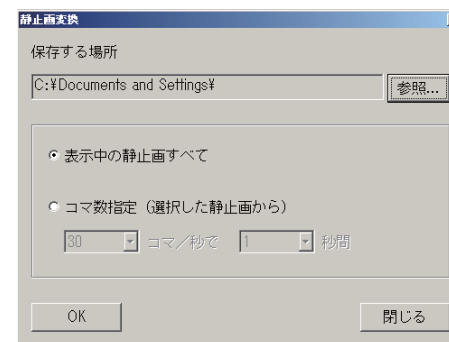
- 2 **静止画変換** をクリックする

・[ツール] をクリックし、[静止画変換] をクリックしても同じ画面表示になります。

- 3 [表示中の静止画すべて]、または [コマ数指定 (選択した静止画から)] を選択し、お好みの保存先を指定し、[OK] をクリックする

● 表示中の静止画すべて

シングル画面表示で静止画変換を行った場合は 1 枚、16 分割画面表示から静止画変換を行った場合は、表示されている 16 画面の映像すべてを静止画に変換できます。



● コマ数指定 (選択した静止画から)

・表示エリアの映像から <秒間> で選択した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

<コマ / 秒>

事故直後の詳しい画像や動きの早い映像をコマ送りのように確認したい場合は [コマ / 秒] を大きくしてください。

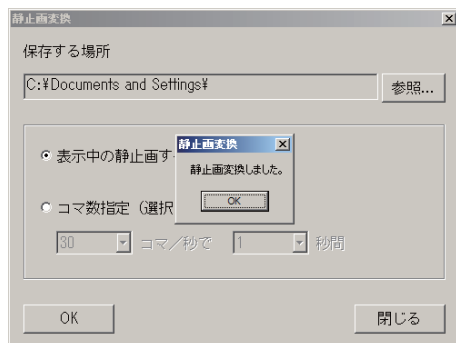
<秒間>

表示エリアにどの時点の映像を表示させているかで、選択できる値は異なります。表示している画像の録画時点以降の時間が選択できます。

早い時点からの静止画を作成する場合は、早戻しや逆再生で希望する時点まで映像を戻してください。

・保存される静止画はコマ数×秒間の枚数になります。

- 4 保存が完了すると、「静止画変換しました。」と表示される
[OK] をクリックすると静止画変換の画面に戻ります。



- 5 終了するときは[閉じる] をクリックする

録画した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

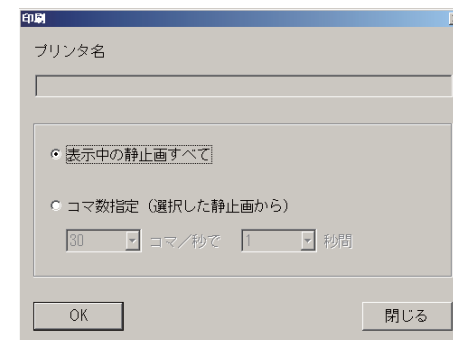
- 1 ファイル名の一覧より、印刷したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、読み込み をクリックする (☞ 22 ページ)

- 2  (印刷) をクリックする

・[ファイル]をクリックし、[印刷]をクリックしても同じ画面表示になります。

- 3 表示中の静止画すべてまたはコマ数指定 (選択した静止画から) を選択する

- 表示中の静止画すべて
表示エリアの映像を印刷します。16 分割画面で表示されているときは、表示されている 16 枚の印刷を行います。
- コマ数指定 (選択した静止画から)
コマ数と秒数を選択します。
 - ・コマ数を選択します。
 - ・秒数を選択します。
 - ・印刷される静止画はコマ数×秒間の枚数になります。

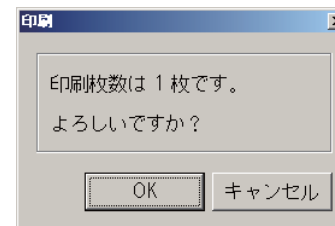


- 4 [OK] をクリックする

印刷画面が表示されます。



- 印刷
印刷枚数を選択します。
[OK] をクリックすると印刷を行います。



- プリンタ設定
印刷するプリンタの設定を行います。
- 1 コマ表示
1 枚に 1 コマの映像データを表示します。
- 4 コマ表示
1 枚に 4 コマの映像データを表示します。

- 5 終了するときは[閉じる] をクリックする

履歴を見る

走行ルートや映像を録画したポイントを確認することができます。本機の電源が入っている間、GPS 測位によって約 1 秒ごとに自車位置を記憶し、合計で約 24 時間分までの履歴（ログデータ）として SD カードに保存します。

- ※ GPS 測位できない場合は、自車位置を記録できません。
- ※ 合計時間が約 24 時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。
- ※ 履歴（ログデータ）を作らないようにすることはできません。

1 履歴タブをクリックする



2 ファイル名の一覧より、見たい履歴のファイル名をクリックする

- ・選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・複数のファイルを選択できます。
- ・「すべてを選択」をクリックすると、録画されているファイルすべてに ☒ が表示されます。



3 「読み込み」をクリックする

選択した履歴が読み込まれます。



● 画面表示について



No	表示名	表示の意味
①	検索	速度や加速度の値を設定し、検索することができます。
②	ファイル情報（ファイル名、本体時計、GPS時計、緯度、経度、速度）	映像の記録日や緯度・経度などの情報を表示します。

● 検索

履歴の中から設定した値を越える速度や衝撃（加速度）の映像を検索でき、ファイルとして表示します。

☒ 速度検索値 Km/h

☐ 加速度しきい値 X ±

☐ 加速度しきい値 Y ±

☐ 加速度しきい値 Z ±

検索

No.	日付時刻	トリガ
1	2011.10.18 07:59:07	速度
2	2011.10.18 07:59:51	速度
3	2011.10.18 08:00:00	速度
4	2011.10.18 08:01:51	速度
5	2011.10.18 08:08:11	速度
6	2011.10.18 08:09:39	速度
7	2011.10.18 08:15:27	速度
8	2011.10.18 08:16:41	速度
9	2011.10.18 08:17:47	速度
10	2011.10.18 08:20:22	速度
11	2011.10.18 08:23:34	速度
12	2011.10.18 08:25:43	速度
13	2011.10.18 08:26:29	速度
14	2011.10.18 08:27:32	速度
15	2011.10.18 08:40:01	速度

速度検索値	検索する走行速度を設定します。
加速度しきい値 X ±	検索したい前後方向の値を設定します。
加速度しきい値 Y ±	検索したい左右方向の値を設定します。
加速度しきい値 Z ±	検索したい上下方向の値を設定します。

- ・ ☐ に ☒ を入れ、任意の数字を入力してください。
- ・ 検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

● ファイル情報

読み込まれたファイル名、本体時計、GPS 時計、緯度、経度、速度[進行方向]を表示します。

ファイル名	: 397,2011.10.18,08:00:00
本体時計	: 2011.10.18 08:00:00
GPS時計	: 2011.10.18 08:00:02
緯度	: 35° 01' 31.83" N
経度	: 137° 04' 45.80" E
速度	: 57 km/h 【北東】

- ・本体時計…本機に内蔵されている時計(日時)
履歴や映像ファイル名に本体時計の時間が用いられます。
日時設定を手動設定にしている場合(☛ 38 ページ)、手動で設定した時間を表示します。
- ・GPS 時計…GPS の電波により取得した日時を表示します。

Google Earth 用のデータに変換する

蓄積された履歴ファイルを KML ファイルに変換できます。変換した KML ファイルを使って、GoogleEarth 上で全走行ルートの表示やドライブ中にワンタッチ録画で録画した映像の静止画を表示、保存できます。

- ※ あらかじめ Google Earth のホームページより Google Earth をダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。
- ※ Google Earth のご使用方法等は、Google Earth のホームページをご確認ください。

1 「履歴」をクリックする

2 変換したい映像ファイル名をクリックする

- ・選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・複数のファイルを選択できます。
- ・「すべてを選択」をクリックすると、録画されているファイルすべてに ☒ が表示されます。
- ・[ファイル] をクリックし、[読み込み] から [履歴] を選択しクリックしても同じ画面表示になります。
- ・[ファイル]→[読み込み] [履歴] を選択しても同様の動作となります。
- ・選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

3 (ログデータ変換) をクリックする

- ・[ツール]→[ログデータ変換]を選択しても同様の動作となります。

4 保存する場所とお好みのファイル名を指定し、ポイント、ルートを設定し、スタートをクリックする

● ポイント (ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS 測位による 1 秒間隔の自転車位置変化をポイントとして Google Earth に表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

- ・変換するポイントの密度：(1 ~ 30)
Google Earth に表示させる自転車位置の間隔を秒数 (1 ~ 30) で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く(広く)なります。数値を小さくすると自転車位置の細かな変化を見ることができます。

● ルート (ログファイルデータの線分図形を表現します)

走行軌跡を線で表示します。

- ・幅：(1 ~ 10)
走行軌跡表示の幅を設定します。
- ・透明度：(0 ~ 255)
走行軌跡表示の透明度を設定します。
0 は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。
- ・色
走行軌跡表示の色を設定します。

● Google Earth 起動

ログファイル保存完了後、Google Earth を自動で起動します。



5 ログファイル保存完了が表示されるので、[OK] をクリックする

Google Earth 起動に ☒ を入れると、ログファイル保存完了後、Google Earth が起動し、画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡は Google Earth 上の道路や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

6 「閉じる」をクリックする

ログデータ変換が終了します。

設定を変更する

設定を変更する前に、[ツール]→[機種選択]→[BU-DRR610T]を選択してください。

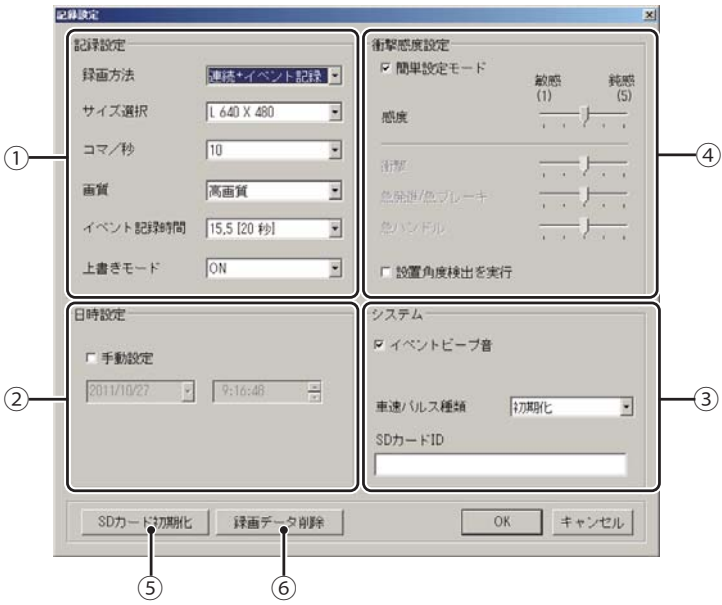
※ 間違った機種選択をした場合、本機は正常に動作しません。

記録設定

（記録設定）をクリックすると、各種の設定変更や SD カードの初期化や録画データのバックアップ、SD カードからの録画データの削除を行うことができます。

・ [ツール]をクリックし[記録設定]をクリックしても同じ画面表示になります。

設定変更を行う場合は、必ず SD カードをパソコンに接続した状態でご使用ください。設定内容は SD カードに保存されます。
SD カードを本機に戻し、本機の電源を ON にすると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。



① 記録設定

● 録画方法

録画する方法を選択できます。

[連続録画] [イベント録画] [連続 + イベント録画] から選択できます。

連続録画	エンジン停止直前までの映像をSDカードに録画します。(10コマ/秒、サイズL、高画質)で、付属のSDカード(4GB)に約3時間の連続録画が可能です。
イベント録画	衝撃を検知した場合に映像を録画します。
連続+イベント録画	連続録画しながら、衝撃検知時の映像も録画します。

録画形式変更時の注意

すでに SD カードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の録画形式へ変更する場合([連続録画]から[イベント録画]への変更など)は、SD カードに記録されている録画データをいったん削除し、新たに変更した設定内容で録画を行います。
設定を変更する場合は、SD カードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップしてください。(27 ページ)いったん削除した録画データは、元に戻せませんのでご注意ください。

● サイズ選択

録画する映像の解像度を選択できます。

● コマ / 秒

1 秒間に録画する映像のコマ数を選択できます。

● 画質

録画する映像の画質を選択できます。

● イベント記録時間

イベント録画時間を設定します。
衝撃検知前の時間(秒)と衝撃検知後の時間(秒)の組み合わせを選択できます。

● 上書きモード

SD カードの空き容量が不足したときの映像の保存方法を選択できます。
[ON]または[OFF]から選択します。

・ 上書きモードが ON の場合

…SD カードの容量がいっぱいになると古いデータから順に書き換わります。

・ 上書きモードが OFF の場合

…容量がいっぱいになると映像は保存されません。

工場出荷時は「ON」に設定されています。

項目	記録モード	連続	イベント	連続 + イベント
サイズ選択		S 320 × 240 L 640 × 480	S 320 × 240 L 640 × 480	S 320 × 240 L 640 × 480
コマ / 秒		1, 5, 10, 15	10, 15, 30	イベントは 10, 15 (連続は 1 コマ / 秒で固定)
画 質		低画質 / 高画質	低画質 / 高画質	低画質 / 高画質
イベント記録時間			30 コマの時 前 10 秒 / 後 10 秒 前 12 秒 / 後 8 秒 前 15 秒 / 後 5 秒 10 と 15 コマの時 前 10 秒 / 後 10 秒 前 12 秒 / 後 8 秒 前 15 秒 / 後 5 秒 前 18 秒 / 後 12 秒 前 20 秒 / 後 10 秒	前 10 秒 / 後 10 秒 前 12 秒 / 後 8 秒 前 15 秒 / 後 5 秒 前 18 秒 / 後 12 秒 前 20 秒 / 後 10 秒

② 日時設定

GPS の電波により日時を習得し、測位後に一度電源を切ることで、自動的に日時の修正が行われます。

● 手動設定

☐ に ☒ を入れ、日付や時刻を設定することもできます。

※ 本機の電源が入ると SD カードから読み込み、日時を修正します。

手動設定する場合は、現在時刻ではなく、次に本機の電源を入れる日付や時刻を想定して設定してください。

③ システム

● イベントビープ音

イベント録画時の警報ブザーの ON/OFF を設定できます。

☐ の ☒ を外すと、警報ブザーが鳴らなくなります。

● 車速パルス種類

車両の車速信号線に接続をしている場合に設定を選択できます。

車両のパルス信号を選択します。

[初期化]、[2 パルス]、[4 パルス]、[8 パルス]、[16 パルス]、[20 パルス]、[25 パルス] から選択します。

・初期化 30km/h から 60km/h で 60 秒間走行すると、自動的にパルスを判断し、設定されます。通常はこちらでご使用ください。

・2、4、8、16、20、25 パルス 選択したパルス固定となります。
印刷画面 (30 ページ) を表示させ、速度 (GPS 値) と速度 (車速パルス) の値が、近い値となるようにパルス数を選択してください。

工場出荷時は [初期化] に設定されています。

※ SD カードの各種設定変更時には車速パルス設定の変更をしないでください。

● SD カード ID

SD カード ID を設定できます。

SD カード ID と本機 ID をログに書き込むことで SD カードと本機の管理に役立てることができます。

④ 衝撃感度設定

● 簡単設定モード

衝撃感度を選択できます。

鈍感～敏感までの 5 段階から設定できます。工場出荷時は中央に設定されています。

・感度を高く設定する (鈍感→敏感) 衝撃感度が敏感になります。

・感度を低く設定する (敏感→鈍感) 衝撃感度が鈍感になります。

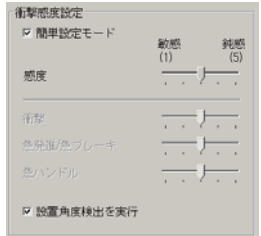
感度レベル	動作・使用条件
敏感 (1)	急ハンドルや急ブレーキ等、 危険運転も記録したい場合
↑	
	標準設定 (基本的に事故のみを記録)
↓	
鈍感 (5)	悪路で反応する場合や サスペンションがかたい車の場合

※車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

簡単設定モードの ☒ をはずすと衝撃、急発進 / 急ブレーキ、急ハンドルの各感度を鈍感～敏感までの 5 段階から個別に設定できます。

各設定を終えたら [OK] をクリックします。

「現在の設定を保存しますか」と表示されますので、[OK] をクリックしてください。



- ・加速や減速、路面の凹凸などに反応(本機から『ピー』と鳴り録画ランプが点滅)しすぎる場合は、感度を鈍感側にしてください。
- ・感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- ・動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

● 設置角度検出を実行

本機を初めて取り付けたときや、カメラの取り付け角度を変更したときは設置角度検出を実行してください。

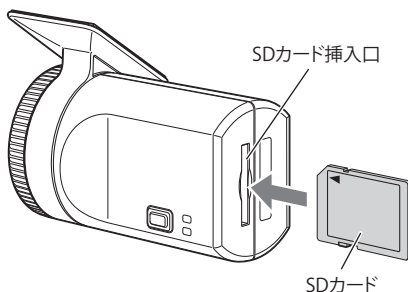
- 1 「設置角度検出を実行」に ☒ を入れ [OK] をクリックする

☒ 設置角度検出を実行

- 2 SD カードを本機に挿入する

電源が切れていること(録画・上書きのLED がすべて消灯)を確認して、SD カードを挿入してください。

※ エンジンキーを OFF にしても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われています。SD カードの抜き差しは、録画および上書きの LED が消灯している状態で行ってください。



- 3 車のエンジンを始動すると、設置角度を自動的に検出します。

- ※ 設置角度検出は、平らな場所で行ってください。
- ※ エンジン始動後、約 30 秒間(録画ランプ(青)だけが点灯するまで)車を動かさないでください。
- ※ 『設置角度検出を実行』の ☒ は、設定後には外れた状態になります。もう一度設定する時以外は、☒ を入れる必要はありません。

⑤ SD カード初期化

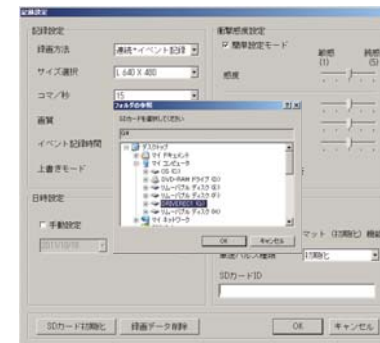
一度 SD カード内のファイルをすべて消去し、必要なファイルを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SD カードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

※ パソコンによる SD カードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、ビューアソフトで行ってください。

※ 必ず 4GB に対応した SD カードリーダーライターや 4GB に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。4GB に対応していない場合、SD カードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

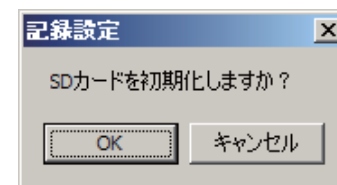
・ [ツール] をクリックし、[SD カード初期化] をクリックしても同じ画面表示になります。

- 1 「[SD カード初期化] をクリックし、SD カードのフォルダ (DRIVEREC1) を選択し [OK] をクリックする



- 2 「[OK] をクリックする

右の確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。中止をする場合は、[キャンセル] をクリックします。



- 3 フォーマットの設定をし、[スタート] をクリックする

フォーマット画面が表示されます。

☒ クイックフォーマット

短時間でフォーマットを行います。

☒ 記録設定データを維持

SD カードの初期化を行っても、記録設定のデータを保持します。

☒ をはらずと工場出荷時の設定内容に戻ります。

※ 録画されたデータは維持されません。



4 [フォーマット完了] が表示される

[OK]をクリックしてください。

5 [SD カード初期化完了] が表示される

[OK]をクリックすると記録設定画面に戻ります。

⑥ 録画データ削除

録画データ削除をクリックすると [録画データ削除] と [記録設定データ初期化] が選択画面に表示されます。

● 録画データ削除

SD カード内に録画されたデータを削除します。

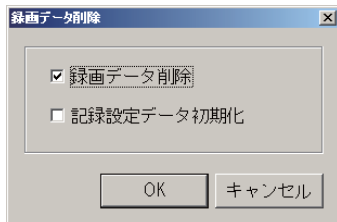
いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。録画した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(➡ 27 ページ)

1 [録画データ削除] をクリックする



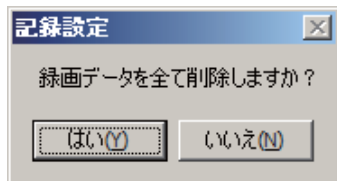
2 録画データ削除に [✓] を入れ、[OK] をクリックする

「録画データをすべて削除しますか？」と表示されます。



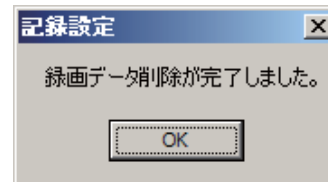
3 [はい] をクリックする

録画データの削除が完了します。



4 [OK] をクリックする

記録設定画面に戻ります。

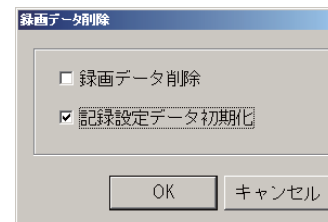


● 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

1 記録設定データ初期化に [✓] を入れ、[OK] をクリックする

記録設定データの初期化が完了します。



2 [OK] をクリックする

記録設定画面に戻ります。



インフォメーション

● バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

● ホームページ

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

・画面右上の Yupiteru をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	- 電源コードが外れていませんか - 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
映像が記録できない	- 付属のSDカードが正しく挿入されていますか。 - 記録設定の上書きモードがOFFになっていませんか。(▶ 37ページ)
記録した映像が映らない	ビューアソフトがインストールされていますか。
本書と違う設定画面が表示される	〔ツール〕→〔機種選択〕から、BU-DRR610Tを選択してください。
本機から『ピーピー…』と鳴る	- 付属のSDカードが正しく挿入されていますか。 - 付属のSDカードが正しく挿入されていないときなどは、正常に起動できません。車両のエンジンキーをOFFにして、付属のSDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。

GPS 測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、走行履歴の保存ができます。

1 車のエンジンを始動します。

本機の電源が入ると、GPS 測位機能が働きます。

通常、GPS測位が完了するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

●TVによるGPS測位障害について

車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。

電源電圧	DC 12V/24V(マイナスアース車専用)
消費電力	5W
カメラ素子	カラーCMOS
視野角	左右131°、上下96°
画素数	30万画素
最低被写体照度	1LUX
画像画質	高画質 / 低画質
画像サイズ	サイズL : VGA (640 x 480) / サイズS : QVGA (320 x 240)
記録媒体	SDカード
記録形式	MJPEG
フレームレート	最大30コマ/秒
動作温度範囲	−10℃ ～+60℃
外形寸法	80 (W) ×50 (直径) mm (突起部除く)
重量	約110g (SDカード含む)

●連続記録時間の目安	4GB	16GB
最高画質 (15 コマ / 秒・サイズL・高画質)	約 2 時間	約 7 時間
低画質 (1 コマ / 秒・サイズS・低画質)	約 200 時間	約 800 時間

●イベント記録件数の目安	4GB	16GB
最高画質 (30 コマ / 秒・サイズL・高画質)	約 160 件	約 640 件
低画質 (10 コマ / 秒・サイズS・低画質)	約 3,000 件	約 3,000 件

※ 上記値は目安で、絶対保障値ではありません。
※ 被写体や周囲環境などの要因により、記録可能時間と件数は変化します。
※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居で贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター

 0120-998-036